

社会福祉法人夢の森福社会広報誌



啐啄同時

理事長 千代田 進

新たな年度が始まると、春の「お花見」が楽しみな行事として定着しています。

●発行/社会福祉法人夢の森福社会「ゆめ」編集委員会 ●印刷/尚三興社
 栃木県日光市大沢町274
 TEL.0288-32-2280 FAX.0288-32-2281
 メールアドレス yumenomori1@ap.wakwak.com

必要とされます。次に施設経営に関して総合的に考えてみますと、当然のことながら利用者様対応即ちいかなる質の良いサービスが提供できるかが常に問われていることの確認を続けることでありましょう。「夢の森」は楽しいなあ」と、利

用していただくことが利用者の皆様の生活、人生にいかにか貢献できているかが原点なのです。もちろん、「楽しさ」ってどういうことなのか、具体的な内容が明確にされ納得できているのが急所であると言えましょう。そのためには、提供する側の環境であり、各部署における職員の体制、態勢が確かかどうかになります。

また、極めて重要であり核となる利用者様対応に関しては、常に適切さが求められることは論を待たないのですが一人でもそれを崩すことがあれば、たいへん不安と不信感を生むこととなります。じっくりと状況を見つめつつ、丁寧に、落ち着いてことを進めることで、しっかりと前を見つめ日々の諸活動や作業等に取り組みつつあります。「楽しくなくっちゃ、夢の森じゃない。」が目標の一つとなれるでしょうか。極めて重い（学習）をすることになりましたが、一年間には大きい小さいはあるにしても、いろいろと問題になることや課題とすべきことがあるものです。それでもたいへん有り難いことに利用者様の利用状況は漸増の傾向にあり、このことは極めて意義のあることで、大事に受け止めていかなければなりません。この現状を充分に念頭に置き、要となる職員体制の確立と指導の充実、質の向上を図ることは必須条件と言えます。今更ではないでしょうか。ところで、こんな言葉を時に目にするところがあります。

昨年年度とは打って変わって今年度は好天気に恵まれ、満開の中ゆっくり散策ができ、「よかつたねー」という言葉がいっぱい聞かれましたが、新たな年、平成二十八年度を迎えるに当たっては幸先のよいスタートなので、先ず始めにご紹介できるのは、平成二十七年からの継続事業としての、待望の「第2夢ホーム」が四月にオープンでき稼働中です。今後は利用者増に備え、職員の充実や快適で安全・安心な運営のあり方が一層の努力が必要とされます。

「啐啄同時」がそれです。ご存知のようにこの言葉の言わんとしていることは、「機を得て両者相応する得難い好機」のことです。鳥の卵がかえるとき、雛が内側からついたりするのを察知した親鳥が外からつつくことをいいますが、特に気になりますのは、日々の利用者様への対応やご家族の方々との連携を進めていく中で、この大事な「機」に気づかずに見逃してしまうとか、一方的にことを進めてしまっているなど、無神経になっているのではないかと危惧です。改めてこの言葉を意識しつつ見つめ直し、その意味をくみ取り、様々な場面での対応の大事な要素として活かしていきたいと考えてみました。

また、様々な活動や作業等が適切に実践されているか、しかも継続しつつあるのが注視され、改善、向上に向かっていくかの評価が加えられていくことになっていきます。そして、それらを支え、適切に推進されていくような設備等の物的環境の整備が常に見直され、的確に、スピーディに営繕に向けられたり、補充されているかの具体的、可視的状況を積み上げていかななくてはならないと考えます。

しかしながら、ここで口当たりの良い言葉を並べ立てているという印象になっているのは本意ではありません。事実としての現状を把握するための一つのあり方として、昨年度には施設独自の「満足度調査」を実施し、満足できていない内容についての貴重なご指摘をいただきました。その後日光市としての「満足度調査」が行われ、ほぼ同様の傾向を示しておりましたが、これらの集計結果のまとめにつきましては、先ずは職員一同が大いなる戒めとして真摯に受け止め、しっかりとした反省と考察をしつつ今後の諸々の対応に活かすこととし、また、利用者様並びにご家族様はもちろんのこと、関係者の皆様にもお知らせいたしました。今後の施設経営にしっかりと反映されているのかを見守っていただけるよう念願しております。

夢の森福祉社会事業紹介

夢の森・夢の里

就労移行支援 定員：10名

夢の森で作業を行いながら一般就職を目指し、いろいろな訓練を行います。作業の正確さや集中力の持続等の訓練や施設外での作業を通して挨拶の仕方、時間の厳守等社会的ルールやマナーを学びます。



工場内清掃



霊園清掃



有線むき作業

就労継続支援B型 定員：15名

夢の森で作業に取り組み、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。また、作業を通してやりがいや生きがいにつながるようサポートします。



リサイクル作業



内職（袋づくり）作業



木工（やすりがけ）作業

生活介護 定員：35名

主に介護を必要とする方、または自分のペースで過ごされたい方について状況に応じた支援を行います。食事、排泄、入浴等の介護サービスの他、希望する方については負担にならない程度の生産活動の支援も行います。



日中活動（生花）



レクリエーション（外出）



レクリエーション（誕生会）

夢ホーム



第1夢ホーム 共同生活援助 定員：5名 短期入所 定員：5名

第1夢ホームでは安心して安全に過ごして頂けるよう広いスペースを確保しています。また、生活全般（食事・排泄等）の援助を行っております。



第2夢ホーム 共同生活援助 定員：4名 短期入所 定員：4名

第2夢ホームは平成28年4月15日に開所を迎え、同日より利用が始まりました。



ホール（食堂）

居室 ナースコール

事務室



浴室

トイレ

夢っ子

放課後等デイサービス 定員：10名

放課後や長期休暇中、児童に日常生活における基本的な動作の指導や生活能力向上のための訓練を行います。また教育、保育、医療等各機関と連携しながら児童の成長や発達を支援していきます。



七夕



電車ごっこ

ドリーム

指定特定相談支援センター

地域で暮らす障がいのある方々や、その家族の相談に応じます。困りごとや気がかりなことを共に考え、日常生活における諸問題を解決し、よりよい生活を実現するためのお手伝いをします。そして必要とされる福祉サービス利用につなげるためのサービス等利用計画を作成します。

その他の事業

日光市地域生活支援事業

- ・日中一時支援事業
- ・移動支援事業

※夢の森福祉会 利用者様の方対象となります。
詳しいことは、お問い合わせください。

「前を見つめつつ」～勤続3年未満の職員から一言～

大橋 優介 (夢っ子)

夢の森に準職員として勤めてそろそろ一年目を迎えます。まだまだ未熟な面が多いですが、皆さん温かい方ばかりで、日々楽しく働かせてもらっています。また、今年度はより見識を深め、自身のスキルアップを図っていきたいと思います。そして夢の森を利用している方達が安心安全平穏に楽しく過ごされ、また明日も来たいと思って頂けるように、一人の支援員として意識を高くもって行動していきたいです。

和氣 祥子 (夢の森)

入社2年目を迎えて、1年が経つのは早いものだなと感じます。ご利用者様と過ごしてきたこれまでに様々な事があり、支援員として力不足を感じる事もありました。けれど一年前と現在では嬉しい変化が見られました。作業レベルが上がる人、挨拶がしっかりと出来る様になった人、言葉ではなく私の肩にポンと手を乗せ表現してくれる人など素敵な事が沢山ありました。今後ご利用者様の色々な可能性を発見していきたいと思います。

高山 満寿夫 (夢の森)

1年目を振り返り、支援員という仕事につき求められる資質についてあまり深く考える事がなかったというのが正直な所です。

今までは利用者様とのふれあいのある関係づくりを重要視してきましたが、これからは「利用者様の人生に大きな影響を与える仕事である」ことを自覚して利用者様と接して行きたいと思っています。

福田 裕子 (夢ホーム)

私達職員は、福祉制度が社会の変化に対応しているのと同様に多様化する利用者様のニーズを受け止め、いち早く対応することが求められています。そのため、高い専門性はもちろんのこと、利用者様が安心して、心豊かな生活が送れるよう心遣いを備え、「明日も(夢の森へ)行きたい。」と思っていただけるような場所を提供できるよう努めてまいります。どうぞ、宜しくお願いいたします。

石川 天志 (車輛・安全)

私は運転手です。毎年新たな目標を持ち、それに向かって努力をするという事はありませんが、安全第一「安全運転」に「心がけ」利用者様の無事送迎を念頭に慎重な運転を継続致します。

交通社会は正に飽和状態、増々複雑化し安全空間が確保出来なくなってきた。このような交通社会だからこそ運転者全員が規律とモラルを重視しなければならない。上手い運転とは、同乗者が安心して乗っていただける事、これが定義であろう。



職員研修報告(施設内研修)

介護人材キャリアパス支援事業研修「行動障がいの予防と支援について」

外部から講師の方をお招きし、全職員を対象に研修会を行いました。

安全運転講習会

DVD・担当職員からの資料に基づき研修を行い運転業務への認識を再確認しました。



平成27年度 事業実績 決算報告

「人と人と 心豊かに 共に生きてあることを 共に生きて輝くことを」を基本理念とし、平成26年度の課題を踏まえ、利用者の尊厳を保持し利用者に対するサービスの向上や充実、家族との信頼関係の確立に繋げていける施設運営に努めました。また、障害者総合支援法の制度改正から2年が経過し、日中活動や居住支援のあり方等、現行の事業体系の運営を図りながら、実績と反省を踏まえ、利用者の個々の能力を最大限に発揮できるよう、その特性に応じた適切な支援に努めるとともに、家族・地域社会・関係機関の協力を得ながら、情緒の安定化や、社会適応能力を高めるなど、充実した援助・支援を目指して日々の実践に取り組み、施設経営のより一層の充実と安定に努めました。

●理事会開催状況

第1回	平成27年 5月29日 (金)
第2回	平成27年11月30日 (月)
第3回	平成28年 1月29日 (金)
第4回	平成28年 3月25日 (金)

●評議員会開催状況

第1回	平成27年 5月29日 (金)
第2回	平成27年11月30日 (月)
第3回	平成28年 1月29日 (金)
第4回	平成28年 3月25日 (金)



●法人役員(平成28年6月1日現在)

【理事】 6名

千代田 進
中森 利和
峯山 敏正
柳田 忠作
鷹鷲 平一郎
小林 幸正

【評議員】 13名

福田 忠義
東野 孝志
下山田 弘
塩谷 つる代
柳沼 節
柿崎 龍夫

大根田 民雄
高橋 完司
秋澤 芳美
根本 広子
杉田 育男
磯村 美和

上野 光一

【監事】 2名

金田 勇
小島 幸容

(順不同、敬称略)

●平成27年度 決算財務諸表(法人全体)(単位/円)

◆財産目録

流動資産	171,570,984
基本財産	247,107,167
その他の固定資産	59,339,827
資産の部合計	478,017,978
流動負債	16,155,765
固定負債	38,841,645
負債の部合計	54,997,410
差引純資産	423,020,568

貸借対照表

流動資産	171,570,984
固定資産	306,446,994
資産の部合計	478,017,978
流動負債	16,155,765
固定負債	38,841,645
負債の部合計	54,997,410
基本金	84,058,750
国庫補助金等特別積立金	119,569,310
その他の積立金	333,200
次期繰越活動収支差額	219,059,308
純資産の部合計	423,020,568

◆資金収支計算書

収入	就労支援事業収入	2,858,667
	障害福祉サービス等事業収入	167,616,547
	経常経費寄附金収入	166,398
	受取利息配当金収入	30,120
	その他の収入	1,819,037
	事業活動収入計	172,490,769
支出	人件費支出	103,558,651
	事業費支出	18,522,875
	事務費支出	13,778,647
	就労支援事業支出	3,468,131
	支払利息支出	244,711
	その他の支出	1,577,382
	事業活動支出計	141,150,397
	事業活動資金収支差額	31,340,372
収入	施設整備等補助金収入	9,372,000
	施設整備等寄附金収入	428,000
	固定資産売却収入	20,000,000
	施設整備等収入計	29,800,000
支出	設備資金借入金元金償還支出	3,055,552
	固定資産取得支出	55,765,026
	固定資産除却・廃棄支出	0
	その他の施設整備等による支出	4,083,822
	施設整備等支出	62,904,400
	施設整備等資金収支差額	▲33,104,400
収入	積立資産取崩収入	935,622
	その他の活動による収入計	935,622
支出	積立資産支出	1,037,831
	その他の活動支出計	1,037,831
	その他の活動資金収支差額	▲102,209
	当期資金収支差額合計	▲1,866,237
	前期末支払資金残高	162,814,407
	当期末支払資金残高	160,948,170

◆事業活動計算書

収益	就労支援事業収益	2,858,667
	障害福祉サービス等事業収益	167,616,547
	経常経費寄附金収益	166,398
	その他収益	0
	サービス活動収益計	170,641,612
費用	人件費	103,663,177
	事業費	18,981,596
	事務費	13,778,647
	就労支援事業費用	3,468,131
	減価償却費	11,105,873
	国庫補助金等特別積立金取崩額	▲5,403,592
	サービス活動費用計	145,593,832
	サービス活動増減差額	25,047,780
収益	受取利息配当金収益	30,120
	その他のサービス活動収益	1,819,037
	サービス活動外収益計	1,849,157
費用	支払利息	244,711
	その他のサービス活動外費用	1,577,382
	サービス活動外費用計	1,822,093
	サービス活動外増減差額	27,064
	経常増減差額	25,074,844
収益	施設整備等補助金収益	9,372,000
	施設整備等寄附金収益	428,000
	固定資産受贈額	1,671,602
	特別収益計	11,471,602
費用	国庫補助金等特別積立金積立額	9,372,000
	特別費用計	9,372,000
	特別増減差額	2,099,602
	当期活動増減差額	27,174,446
	前期繰越活動増減差額	191,882,545
	当期末繰越活動増減差額	219,056,991
	基本金取崩額	0
	その他の積立金取崩額	153,966
	その他の積立金積立額	151,649
	次期繰越活動増減差額	219,059,308



心をつなぐ「夢だより」に寄せて

評議員 下山田 弘



毎月「夢だより」「健康だより」等をお送りいただきまして、誠にありがとうございます。毎回、楽しく拝見させていただいております。

各だよりは、写真等が多く、とても見やすいです。しかも夢の森の各行事等では、どんな内容をどのように取り組まれているのか、又情報も各分野にわたり豊富でわかりやすく視覚を通して瞬時に伝わってまいります。

利用者皆様等生き生きとした姿が、紙面に現れています。

又「健康だより」では、毎号、私にとりましても、勉強になることがいっぱいあります。一人一人を考えた献立等もすばらしいですね。

今後とも、夢の森利用者の皆様や、協力されている方々、職員の皆様が強い絆で結ばれ思いやりの心があふれる「夢だより」になりますよう、ご祈念申し上げます。



笑顔で元気、「夢の里」大好きです

利用者家族 池田 幸枝



デイケア「夢の森」の時からお世話になり、早いもので19年近くになると思います。自宅近くに施設が出来るなんて夢のように思いました。足の指に絵筆をはさみ絵の具を使って絵を書いたのだろうか、つめの間に赤や青の色を付けて帰って来た時など、いろいろな事を経験しているなど、また額に入った絵を見た時の嬉しかった気持ちを今でも思い出します。

「夢の森、夢の里」になって、利用者の人数が多くなり施設の中の雰囲気も少し変わったなと思います。CD、テレビ、自動車の話し、昔より世界が広がった事を感じています。「夢の里、夢ホーム」の利用も楽しみになって来た様子で安心していきます。気持ちと時間のゆとりが出来ました。職員のみなさんのおかげです。利用者と施設のために協力が出来たらと思っています。



後援会ご入会のご案内

“みなさまのご支援のおかげで様々な活動が可能になります!”
 個人年会費（一口）1,000円 団体年会費（一口）5,000円
 任意の口数でのご協力をお願いいたします。

「夢フェスタ2016」ボランティア & バザー一品・抽選会景品募集!!

平成28年11月20日（日）10時より「夢フェスタ2016」を開催する予定となっております。夢フェスタは、夢の森福祉会後援会と利用者家族の会が利用者様と地域の方が交流できるお祭りとして毎年開催しております。

夢フェスタにご協力いただける方は、下記の後援会事務局までお問い合わせください。また、バザー一品・抽選会景品も併せて募集しておりますので、ご協力の程、何卒、よろしくをお願いいたします。



（社福）夢の森福祉会後援会事務局

〒321-2341 日光市大沢町274番地
 TEL. 0288(32)2280 FAX. 0288(32)2281
 E-mail: yumenomori1@ap.wakwak.com

担当：齋藤・熊倉・山口

編集後記

今表紙をかざった集合写真は5月に撮影しました。中央にある“ゆめ”の二文字は利用者様と職員のたくさんの手形によって作られています。みんなで手をつなぎ「一緒に暮らしてゆこう」「夢を作ってゆこう」という思いが込められています。

最後に、多忙な中ご寄稿頂きました皆様方にお礼を申し上げます。今後とも宜しくお願い致します。

※集合写真の中に、今年の干支が隠れていますよ！探してみてください。（編集委員）

